

2016年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	施工法Ⅱ						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)、選択科目(建築コース)、選択科目(デザインコース)						
担当者	河上 嘉人						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨工事に関して、部材の接合法や建方、耐火被覆工法などに関する知識を習得する。 ・外装工事の種類や施工法に関する知識を習得する。 ・内装工事の種類や施工法に関する知識を習得する。 ・安全・衛生に配慮した材料の選定・工法について理解する。 						
日程と内容	第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 第2回：鉄骨工事／ボルトの種類・締付け法に関する知識を習得する 第3回：鉄骨工事／アーク溶接に関する知識を習得する 第4回：鉄骨工事／建方機械や建方、耐火被覆に関する知識を習得する 第5回：ALCパネル工事／ALCパネルおよび構法を理解する 第6回：石工事、タイル工事／タイルの種類及びタイルの貼り方を理解する 第7回：木工事／継手・仕口・接合金物／種類及び用途に関する知識を習得する 第8回：木工事／木構造の基礎・耐力壁に関する知識を習得する 第9回：屋根工事／屋根葺材の種類及び葺き方について理解する 第10回：防水工事／防水工事、シーリング工事について理解する 第11回：左官工事、吹付工事／セメントモルタル塗りについて理解する 第12回：塗装工事／塗装下地および塗装材料と下地の相性について理解する 第13回：内装工事／内装材料・工法について理解する 第14回：安全・衛生に配慮した材料の選定・工法について理解する 第15回：まとめ 第16回：定期試験						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	40%		100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨工事に関して、部材の接合法や建方、耐火被覆工法などに関する知識を習得する。：ほぼ達成できた。 ・外装工事の種類や施工法に関する知識を習得する。：ほぼ達成できた。 ・内装工事の種類や施工法に関する知識を習得する。：ほぼ達成できた。 ・安全・衛生に配慮した材料の選定・工法について理解する。：ほぼ達成できた。 						
反省点	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者数が2014年度84名、2015年度64名、今年度44名と年々減少している。将来、多数の現場管理者が見込まれる中で、早期にその意識付けを行うことが必要である。 ・合格者の評価点の平均値は79点と比較的高いが、期末試験の得点率で見ると平均64点であり、知識が定着したとは言い難い。 						
来年度の計画	教科書をより実務的内容が濃いものに変更する。						
授業評価アンケートに対するコメント	自由記述：なし 各項目の評価点および総合評価点とも学部平均点より高く、特にコメントすることはない。						
履修登録者数	44名	定期試験 受験者数	38名	合格者数	37名	合格率	97%